

第18回全日本学生剣道オープン大会 要項

1. 日 時 1日目 令和6年12月14日(土) 午前9時 開会式
2日目 令和6年12月15日(日) 午前9時 開始
2. 場 所 カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)
宮城県仙台市太白区富沢1丁目4-1 Tel 022-244-1111
3. 主 催 全日本学生剣道連盟
4. 後 援 スポーツ庁 公益財団法人全日本剣道連盟 公益財団法人日本武道館
毎日新聞社 宮城県 仙台市 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
(公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツコミッションせんだい
一般財団法人宮城県剣道連盟 青森県剣道連盟 秋田県剣道連盟
岩手県剣道連盟 山形県剣道連盟 福島県剣道連盟
全日本学連剣友会 東北学連剣友会
5. 協 賛 NAX JAPAN JP ロジスティクス
6. 主 管 東北学生剣道連盟
7. 試合種目 弐段以下の部 男子・女子 個人試合
参段以上の部 男子・女子 団体試合
8. 試合方法 【弐段以下の部 男子・女子 個人試合】
予選リーグを行い、各リーグ1位により決勝トーナメントを行う。
1) 予選リーグ
・男子3分三本勝負、女子3分三本勝負とし、勝敗の決しない場合には引き分けとする。
・リーグは4名または3名の予選リーグを行い、1名が決勝トーナメントへ進出する。4名リーグの場合は総当たりではなく、リーグ内で2試合を行い、順位を決定する。3名リーグの場合は総当たりとする。
・4名の予選リーグにて欠場が発生し3名のリーグ戦になった場合は総当たりとする。
・各リーグにおける順位決定は勝ち点(勝ち3点、引き分け1点、負け0点)による。
・勝ち点が同数の場合は総本数により決する。
・総本数も同数の場合には決勝トーナメント進出決定戦を行う。
・決定戦は以下の方法によって行い、勝敗の決しない時は延長戦を3分で区切り勝敗が決するまで行う。
 - 2名の勝ち点・総本数が同数の場合
 - ・3分一本勝負
 - 3名の勝ち点・総本数が同数の場合
 - ・3分一本勝負
 - ・トーナメント戦(但し1名シード)

○4名の勝ち点・総本数が同数の場合

・3分一本勝負　・トーナメント戦

なお、トーナメント戦は抽選とする。

2) 決勝トーナメント

- ・試合は男子3分三本勝負、女子3分三本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長戦を行う。延長戦は3分で区切り、勝敗が決するまで行う。

【参段以上の部 男子・女子 団体試合】

各大学3～4名の選手を登録することにより、チームを編成する。

試合は3人制の予選リーグを行い、各リーグ1位により決勝トーナメントを行う。

メンバーの変更は認めない。但し、オーダーの変更は自由とする。

1) 予選リーグ

- ・男子3分三本勝負、女子3分三本勝負とし、勝敗の決しない場合には引き分けとする。団体試合の勝敗は勝者数により決する。勝者数が同数の場合は総本数により決する。総本数が同数の場合は引き分けとする。
- ・リーグは4チームまたは3チームの予選リーグを行い、1チームが決勝トーナメントへ進出する。4チームの予選リーグは総当たりではなく、リーグ内で2試合を行い、順位を決定する。3チームの場合は総当たりとする。
- ・4チームリーグ戦で欠場が発生し3チームのリーグになった場合は、総当たりとする。
- ・各リーグにおける順位決定は勝ち点（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）による。
- ・勝ち点が高点の場合は勝者数により決する、勝者数も同数の場合は総本数により決する。
- ・総本数も同数の場合には、代表者1人による決勝トーナメント進出決定戦を行う。
- ・決定戦は、以下の方法により3分一本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長戦を行う。延長戦は3分で区切り、勝敗が決するまで行う。トーナメント戦は抽選とする。

○2チームの勝ち点・勝者数・総本数が同数の場合

・決定戦

○3チームの勝ち点・勝者数・総本数が同数の場合

・トーナメント戦（但し1名シード）

○4チームの勝ち点・勝者数・総本数が同数の場合

・トーナメント戦

2) 決勝トーナメント

- ・3分三本勝負とし、勝敗の決しない場合には引き分けとする。団体試合の勝敗は勝者数により決する。勝者数が同数の場合は総本数により決する。総本数が同数の場合は代表者戦により決する。
- ・代表者戦は3分一本勝負とし、勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は3分で区切り、勝敗の決するまで行う。

9. 試合・審判規則　全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則、運営要領並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。

10. 審判員構成 全日本学生剣道連盟加盟大学の卒業生を以って構成することを原則とする。

11. 出場資格 登録試合者は全日本学生剣道連盟加盟大学の学生で、各地域連盟に登録している者に限る。登録できる回数は4回までとし、以下の大学については次のとおりとする。

- 1) 6年制大学並びに6年制学部学科の学生は6回まで
- 2) 5年制学部学科の学生は5回まで
- 3) 3年制短期大学並びに3年制学部学科の学生は3回まで
- 4) 短期大学の学生は2回まで

但し、在学中に学生剣道大会以外の各職大会に出場した者の出場は認めない。

<国際交流・国内在住留学生のオープン参加にかかる参加資格について>

- ・令和6年10月1日時点で日本国内の大学（大学院含）剣道部に所属する外国籍の留学生であること。
- ・参加を希望する留学生は、本人の安全と日本国内での身分を保証する個人・団体として、所属する大学剣道部監督（又は同等の剣道団体責任者）の参加了承を要する。
- ・上記の条件が満たされる場合、全日本学生剣道連盟への登録がなくてもオープン大会への参加・出場を認める。
- ・大学生の場合は、学部にかかわらず4回までの出場を認める。（年齢制限なし）
- ・大学院生の場合は、2回までの出場を認める。（年齢制限なし）

<国際交流・海外招聘選手(国内在住学生)のオープン参加にかかる参加資格について>

- ・各国に在住する大学生及び大学院生であること。（年齢制限なし）
- ・全日本学生剣道連盟関係者または国際交流のある大学が身分を保証する者。

12. 表彰

式段以下の部：優勝 準優勝 3位（2名）敢闘賞（ベスト8・4名）

参段以上の部：優勝 準優勝 3位（2チーム）敢闘賞（ベスト8・4チーム）